

別紙1 佐賀県医療機関情報・救急医療情報システム機能要件一覧

一般向け業務	
Web機能	
共通機能	県民向け公開ページについては現行のWEBページの基本的な構成及び内容を踏襲することとし、ユニバーサルデザインの観点から、視認性・操作性・情報の分かりやすさを重視したレイアウト表示を、同一のアドレスにて自動的に切り替えて表示すること。 レスポンスWEBデザインに対応することで、PC、タブレット、スマートフォン等の端末の画面解像度に応じたレイアウト表示を、同一のアドレスにて自動的に切り替えて表示すること。 現行99さがネットにリンクを貼っている関係者が多くいることから、原則、URLは「https://www.qq.pref.saga.jp/」を引き継ぐこと。不可の場合は県と受託者で協議の上決定すること。
99さがネット	サイトに関する説明や根拠法などを表示し、佐賀県のページとしてふさわしいものとする。 県民へのお知らせの最新5件程度の掲載日、重要アイコン、最新アイコン、表題を表示すること。 当番医の一覧画面では、「休日夜間急患センター」「当番医」を表示することとし、在宅当番医、歯科当番医を最大1か月程度日付ごとに一覧表示されること。 地区区分等に対応可能なこと。 利用者からの意見や質問の問合せ受付用のWEBフォームによる入力画面を準備して、入力された情報は県担当者あてにメール送信すること。
その他	ホームページ内に掲載する内容等の変更、追加に対して対応可能であること。
医療機関、関係者およびシステム管理者向け業務	
Web機能	
共通機能	関係者ページには、本システム管理者、医療関係者、救急隊等、救急医療に関わるユーザに対して、IDとパスワードを払い出し、各ユーザはログインして本システムを運用するものとする。 レスポンスWEBデザインに対応することで、PC、タブレット、スマートフォン等の端末の画面解像度に応じたレイアウト表示を、同一のアドレスにて自動的に切り替えて表示すること。 ログイン後にはログインユーザのIDと機関名称、操作マニュアルへのリンクを表示させる。救急医療システムのログイン後はどの画面からもログアウト可能とする。
ログイン・ログアウト	登録したユーザID、パスワードによる認証を行うこと。 ログインの完了後に関係者メニューを表示する ログイン以降の操作についてユーザごとの操作時間、操作業務等のログを記録すること。
関係者メニュー	業務メニュー画面は利用者の権限に応じた機能を表示する。
お知らせ（関係者向け）	登録されているお知らせのタイトルを関係者メニュー内に表示すること。また、『重要』『新着』等の情報をアイコン表示する。

救急医療機能	
機関情報登録	管理者による救急医療機関、消防機関、その他機関の情報の新規登録、及び変更が可能なお医療機関においては、救急・災害情報としての一般情報、応需入力情報、一斉通報、DMAT関連情報等の情報が登録可能なこと。
地図表示	指定された医療機関を中心とした周辺地図を表示すること
応需情報入力	医療機関から科目別の応需可否、手術可否および当直医の有無の応需情報の新規入力及び更新入力を行えること。 画面には前回入力時間(YYYY/MM/DD HH:MM)を表示すること。 応需科目は医療機関ごとに登録可能とし、登録された応需科目のみ表示すること。 科目別の応需可否は積極受入／受入可／不可などの複数の選択肢を登録可能とすること。また、複数の科目の応需可否および手術可否の応需情報を一度に全て変更可能とする。 備考欄を設け、入力が行えること。備考欄は自由記入が行えること。 管理者権限による代理入力が可能であること。
応需情報入力（予定）	応需可否の予定を現時点から翌月までの応需予定を事前に登録可能とすること。 前月から現時点までの応需登録の状況を表示すること。 1日を複数の時間帯に分ける、曜日によるパターン設定など、医療機関の実態に合わせた登録が自由に行えること。 各科目ごとの各時間帯ごとに、応需可否、手術可否および当直医の有無を登録可能であること 備考欄を設け、入力が行えること。備考欄は自由記入が行えること。 時間帯ごとや科目ごとの応需可否や手術可否、当直医の有無を一括で全て○、全て×とするなど、効率的に登録できる機能を有すること。 指定した日付範囲の応需予定を別の日付け範囲にコピーすることが可能など、効率的に登録できる機能を有すること。
応需状況表示	医療機関の登録した応需情報を一覧表示する。 一覧には、医療機関名、住所、電話番号、診療科目別の応需情報、更新日時(YYYY/MM/DD HH:MM)、備考等を表示すること。 消防の管轄地区を選択し、管轄内の医療機関を絞り込み表示できること。 指定した応需科目(複数)を受入可としている医療機関が容易に確認できること。 文字情報だけでなく、当番・輪番医療機関(科目別)アイコンの表示等により視認性が高いこと 感染症指定医療機関等一覧を表示し、応需入力の備考で入力された内容の表示を行うこと。
ドクターヘリ運航情報登録	ドクターヘリの運航機関(CS)にてドクターヘリの運航状況を登録することで、その情報を関係者メニューにて表示させる。対象は佐賀ドクターヘリ、長崎ドクターヘリ、福岡ドクターヘリを想 運航の可否として、運航可能／一部運航可／運航不可を選択できること。 運航の待機時間や運航不可地域や不可理由などをコメント登録できること。 登録実行後に表示された関係者メニューにて、登録内容が表示されること。

輪番登録	地区、年月日を選択し、輪番登録を行えること。
	登録した輪番情報の確認、修正、削除が行えること。
	年月日については、月ごとのカレンダー形式等でわかりやすい画面構成とすること。
	登録年月日の曜日を自動判定し、当番輪番時間帯管理で登録されている時間帯を設定すること。
	輪番科目は、当番輪番時間帯管理で登録されている輪番科目が登録されること。
輪番時間帯管理	輪番登録画面から輪番実施市町での当番時間を設定する。
	設定条件に平日、土曜日、日曜日、祝日を設定できること。
	輪番を実施する科目ごとに時間を設定できること。
お知らせ登録	お知らせタイトル、重要区分、表示先区分(一般、携帯一般、関係者)、掲載期間、記事内容、リンクURL、添付ファイルを登録できること。
	添付可能なファイルの形式は以下のものとする。 docx、xlsx、jpg、jpeg、bmp、gif、png、pdf、txt、jtd その他
	添付ファイルの容量は各10Mbyte程度までアップロード可能なこと。
	添付ファイルは3ファイルまで可能なこと。
パスワード	パスワードは8文字以上とすること。
	英大文字・小文字・数字・記号が利用できること。
パスワード変更	
	ログインするためのパスワードを変更可能なこと。

統計資料	
統計帳票一覧	各統計帳票を一覧表示し、集計期間を指定してダウンロードする。
	帳票の年度を指定して、当年度以前の統計帳票もダウンロード可能なこと。
	昨年度以前の帳票は集計済み帳票として帳票名リンクからダウンロード可能とすること。
	現行システムから抽出した集計データについても可能であれば掲載すること。
応需情報入力状況	応需情報の月次入力状況を月ごとおよび累計集計し、EXCELファイル等にてダウンロードする。
	集計単位は機関ごとの当月入力状況と年度累計を出力する
	医療機関ごとの救急区分と平日・日曜祝日、合計ごとの応需入力回数、入力日数、入力率等の情報を出力する。
照会業務別照会件数	検索業務の月次利用状況を毎月集計し、EXCELファイル等にてダウンロードする。
	集計単位は機関区分(消防、搬送支援入力有り機関、搬送支援入力無し機関、医師会、保健所、県庁等)ごとの当月件数と年度累計を出力する
県民向けホームページ利用状況	
	県民向けWEBページのアクセス件数を毎月集計し、EXCELファイル等にてダウンロードする。
搬送実績統計資料	
	救急隊が入力する搬送実績情報を月単位に集計し、EXCELファイル等にてダウンロードする。
	(消防本部別搬送実績台帳) 消防本部ごとに入力された搬送実績情報を搬送事案ごとに出力する。 消防本部がダウンロードする場合には、自消防本部の搬送事案のデータのみダウンロード可能とする。
	(医療機関別搬送実績台帳) 医療機関ごとに入力された搬送実績情報を搬送事案ごとに出力する。 医療機関がダウンロードする場合には、自医療機関へ搬送された事案のデータのみダウンロード可能とする。
	(消防本部別搬送実績月報) 消防本部ごとに、月ごとの搬送実績情報の集計と累計を出力する。 消防本部ごとの搬送件数、搬送不可件数、照会回数ごとの件数、搬送時間ごとの件数を集計する。
	(医療機関別搬送実績月報) 医療機関ごとに、月ごとの搬送実績情報の集計と累計を出力する。 医療機関ごとの受入件数、種別ごとの受入件数、理由ごとの受入不可件数を集計する。
	(搬送先検索利用状況明細) 搬送先検索機能の検索実行した状況の明細を出力する。 検索実行ごとに検索者、検索日時、検索条件を出力する。
	(搬送先検索利用状況集計) 消防本部(地区)ごとに、搬送先検索機能の検索条件ごとに検索実行した件数を集計し出力する。
救急搬送データ分析機能	
	救急医療情報システムに登録された搬送実績情報をデータ分析ツールを利用して視覚化(グラフ表示)して表示できること。
	分析結果は、PDF等の形式でレポート出力できること。
	分析に必要なデータは、データクレンジングやフィルター処理など事前にデータ準備したものがシステム上で提供され、分析が実施できること。

EMIS	
EMISへのリンク	EMISへのリンクボタンを表示すること。 別ウィンドウにてEMIS画面を表示すること。
照会業務	
災害拠点病院一覧	機関情報で登録された災害拠点病院の一覧を表示すること。 一覧には地域ごとの災害拠点病院の医療機関名、住所、災害時の電話・FAX番号を表示すること。 災害拠点病院ごとに地図表示ができること。
医療マニュアル	佐賀県災害時医療救護マニュアルと佐賀県緊急被ばく医療マニュアルのPDFへのリンクを準備すること。 佐賀県災害時医療救護マニュアルと佐賀県緊急被ばく医療マニュアルのPDFへのリンクから別ページに対象のPDFを表示できること。
医療機関、消防本部（救急隊）および関係者向け業務	
搬送支援情報機能	
搬送先検索	佐賀県の搬送実施基準をもとにして、症状や科目を選択して搬送先リストの医療機関を検索できること。 検索条件に該当する医療機関を一覧表示すること。一覧には、機関名・電話番号、地区名および応需可否と共に、最新の受入時刻等の情報を表示できること。 一覧表示している医療機関を指定して、その医療機関の直近の搬送実績（照会情報）の一覧を表示できること（「実績一覧」表示）。 実績一覧上で指定した搬送実績ごとの詳細情報の表示ができること。 症状別の検索時には、科目ごとの応需可否と共に、症状別の対応可否を表示できること。 医療機関名のリンクから、対象の医療機関の救急応需の詳細情報を表示できること。 各医療機関の24時間以内の搬送実績を同一画面内に一覧表示できること。搬送実績の一覧には、時刻、出場先住所、種別、受入可否、現場傷病判断等を表示できること。 搬送実績の一覧から、各搬送実績の詳細情報を表示できること。
搬送実績登録一覧（消防）	消防本部ごとに1日ごとの搬送実績を一覧表示できること。 一覧には、入電日付、搬送番号、出場先住所、搬送先機関、登録状態等の情報を表示すること。 一覧は日付や救急隊を条件に検索できること。 新しい搬送実績の登録および登録済みの搬送実績を修正・削除できること。

搬送実績登録(消防)	救急隊が出動ごとに救急搬送をおこなった情報を登録する。
	数字や文字などの入力をソフトウェアキーボードに加えて、画面上のボタンや選択リストから入力する画面等、利用者の操作性を配慮すること。
	必要な項目を順次入力しやすいようにタブ切替操作等による画面構成とすること。
	入力する情報は、 ①出動情報、②搬送先機関の照会状況(受入・不可理由)、③選定理由、④事故種別、⑤発生場所、⑥出場先住所、⑦傷病者性別年代、⑧現場傷病判断、⑨時間経過等、救急活動記録票に記載する内容とする。
	必須項目が確認しやすい画面を用意すること。
	搬送先機関の照会情報を入力した時点で、他の救急隊や医療機関へ情報共有できること。
	出場先住所の登録では、佐賀県内の市町を選択をすると、選択した市町の町大字を選択可能とするなど入力補助の工夫がされていること。他県(長崎県、福岡県など)の出場先も指定可能とすること。
	時間経過の入力では、入電ー現着ー現発ー病着等を入力可能とし、時刻の入力誤りにはエラー表示できること。
	熱中症の疑いの有無と発生場所を入力できるようにすること。入力した情報は搬送実績台帳と月報に出力され、熱中症搬送患者数の情報をダウンロードできるようにすること。
	入力途中でも一時的に保存することを可能とし、後から入力再開できること。
搬送実績登録一覧(医療機関)	自医療機関へ搬送された搬送実績を日別一覧表示する。
	一覧には、入電日付、搬送した消防本部、搬送番号、出場先住所、転帰情報登録状態(未入力/入力済み)を表示すること。
	一覧は日付範囲や消防本部、転帰情報未入力等を条件にして検索できること。
	それぞれの搬送実績の転帰情報を入力・削除できること。
搬送実績登録(医療機関)	搬送実績登録一覧から選択した搬送実績へ医療機関側での転帰情報等を入力する。
	入力画面には消防側が入力した搬送実績情報を表示すること。
	医療機関が入力する項目には、 ・初診時傷病名 ・傷病程度 ・転帰状況 ・転帰時の傷病名 を用意すること。また、運用期間における、項目追加や変更についても対応可能であること。
	初診時傷病名には、グルーピングした代表的な傷病名を選択できること。
	転帰状況の日付け(初期入力時には当日日付を初期表示する)と特記事項を登録できること。
	転帰時の傷病名が初診時傷病名と異なる場合には、初診時傷病名登録時と同様にグルーピングした代表的な傷病名を選択できること。
搬送実績モニター	救急隊が入力した搬送実績情報を関係者(消防本部や医療機関等)が確認し情報共有できること。
	県内全域および2次医療圏別に、医療機関ごとの24時間以内の救急搬送受入件数/受入不可件数を一覧表示できること(「医療機関一覧」表示)。
	一覧表示している各医療機関の最新の救急搬送受入/受入不可の状況を表示できること(「最新情報」表示)。
	一覧表示している各医療機関の救急搬送受入/受入不可の状況を、直近3時間以内の時間軸上にアイコン表示など、視覚的に事故種別や受入不可理由などがわかるようにアイコン表示すること。
	一覧表示している医療機関を指定して、その医療機関の直近24時間以内の搬送実績(照会情報)の一覧を表示できること(「実績一覧」表示)。
	実績一覧上で指定した搬送実績ごとの詳細情報の表示がおこなえること。
消防コメント登録機能	消防本部ごとに、医療機関に関する情報共有することができること。

活動記録票機能	
活動記録票入出力機能	救急隊がタブレット端末やPCから救急活動記録票の情報を登録可能とし、現状の99さがネットの搬送実績入力と活動記録票の手書き作成を一元化することで救急隊の作業省力化を図ること。 搬送実績登録一覧画面から活動記録票の情報入力がおこなえること。 搬送実績登録一覧の各事案ごとに、活動記録票の入力の有無が確認できること。 搬送実績登録一覧の各事案ごとに活動記録票の登録状況(未登録／一時保存／登録済み／印刷PDF表示済み 等)を表示し確認できること。 傷病者ごとの活動記録票の情報を新規追加、更新、削除することができること。 入力項目は救急活動記録票の項目に対応し、必要に応じて項目追加できること。 事案番号の採番方法については、本機能の設計フェーズにて仕様を確定させ、自動採番方法の実装を考慮すること。 搬送実績情報入力と活動記録票の情報入力は互いに連携し、一方で入力した項目はもう一方に自動的に入力済みとなるよう同様の項目を重複登録することの無いようにする。 「出動情報」「時間経過」「現場到着時状況」「傷病者情報」「観察情報」「応急処置」など、入力は出動時の活動に合わせて画面分割等をおこない、PC端末とタブレット端末の両方で入力しやすい画面とすること。 入力方法は複数候補からの選択やテンキー入力を基本とし、備考や特記事項などはキーボード入力もしくは手書き入力を可能とすること。※項目ごとの入力仕様は構築時に決定する。 手書き入力等に人体図などを背景に使用できること。 データの入力の際はタブレット及びスマートフォンのカメラを前提として画像のアップロード、画像解析入力(OCR)や音声認識入力補助機能を用いることで、消防隊が入力しやすいインターフェイスを実現すること。 選択項目などに設定されるコードは総務省消防庁のオンラインシステムの区分マスタと同様のコード体系を用いること。 コード情報などはマスタ管理し、マスタ情報の追加更新により必要に応じて修正がおこなえること。 救急隊情報などをあらかじめ設定登録できる画面を用意し、端末ごとに登録した情報を活動記録票の入力情報として利用できること。 入力項目には必須／任意の区別を可能とし、必須項目を画面上で識別できると共に未入力の必須項目の確認が簡単におこなえること。 入力された情報のエラーチェックは基本的に画面入力中におこなうこと。 入力途中でも一時的に保存することを可能とし、後から入力再開できること。 入力が確定した時点で、本登録を可能とすること。 搬送実績登録一覧から選択した事案の救急活動記録票の形式による印刷用PDFをダウンロードして表示できること。 救急活動記録票は、事後検証まで使用する想定で検討すること。医療機関においても活動記録票の確認、追記などができること。
その他	
外部システム連携および出力機能	搬送実績や、活動記録票の情報等の情報を、外部システムとの連携を想定して、QRコード表示、csvファイル等の出力を行えること。
一斉通報	登録されている機関等に対して、メールで一斉に情報を送信すること。 また、送信先はユーザによるグルーピングができることとして、グループ単位でのメール送信ができること。